

オープニング

13:00-13:10



●岩手県立大学さんさ踊り実行委員会× デジタルArtのコラボレーション



日本において長年伝承されてきた大切な財産である「民俗芸能」。令和の時代を迎え、これからも継承されていくべき価値のある民俗芸能とデジタルアートとがコラボレーションすることにより、新しい形を見出し、更なる魅力を引き出します。

講演

13:25-14:25

●IoT技術と地域資源を活用した 新たな事業創出



講師

児玉 則浩

株式会社MOVIMAS 代表取締役
株式会社八幡平スマートファーム 代表取締役
高石野施設野菜生産組合 組合長

群馬県出身。東京でクラウドIoT制御システムの開発を行う株式会社MOVIMASの代表取締役。2017年9月に八幡平市とスマートファームプロジェクトの基本合意書を締結。2019年1月に八幡平スマートファームを設立。同年8月に地域資源を活用する高石野

施設野菜生産組合を事業承継し、11月に松川地熱発電所温水とIoT技術を活用した熱水ハウス12棟を建設着工。2020年6月からバジルの通年出荷を開始。2021年度内に県内初の東京23区内からの本社移転完了を目指す。

パネル
ディスカッション

14:40-16:10

●コロナ下における 岩手の若者活躍と県の取組紹介

説明 岩手県環境生活部若者女性協働推進室

●県内で活躍する若者によるパネルディスカッション



コーディネーター

(一社)いわて圏代表理事

佐藤 柁平

一関市生まれ。明治大学農学部で地域づくりを専攻し、都内のPR会社で全国各地の地方創生事業やプロモーションに従事したのちUターン。観光地域づくりを行う世界遺産平泉・一関DMOの発足を支援後に独立。2018年に(一社)いわて圏を設立し、岩手に関する公益的・社会的事業のプロジェクトディレクションを担う。県内外の行政・企業・各種団体と連携し、新しい岩手の社会づくりに挑戦中。



コメンテーター

岩手県知事

達増 拓也



コメンテーター

株式会社MOVIMAS代表取締役

児玉 則浩



パネリスト

サイボウズ株式会社

平賀 実莉

花巻市出身。早稲田大学卒業後、サイボウズ株式会社に就職。同社では、新卒採用チーム兼多様性理解促進チームに所属し、採用業務やDSI推進業務を担当。そのスキルを活かし、(一社)いわて圏でインターシップの募集・マネジメント等の複業を開始し、首都圏と岩手をフィールドにした新しい働き方に挑戦中。



パネリスト

株式会社北三陸ファクトリー取締役

眞下 美紀子

洋野町出身。大学進学を機に上京。飲食チェーンでの教育担当などの仕事を経験。2016年にUターンし、雫ひろの屋に入社。2018年から(株)ひろの屋の子会社である(株)北三陸ファクトリーに参画。同社の「北三陸うみの学校」の教育事業のなかで、AR(拡張現実)やVR(仮想現実)等を活用しながら、水産業×教育×テクノロジーの切り口で、地域に新たな価値を生み出す活動を実施。